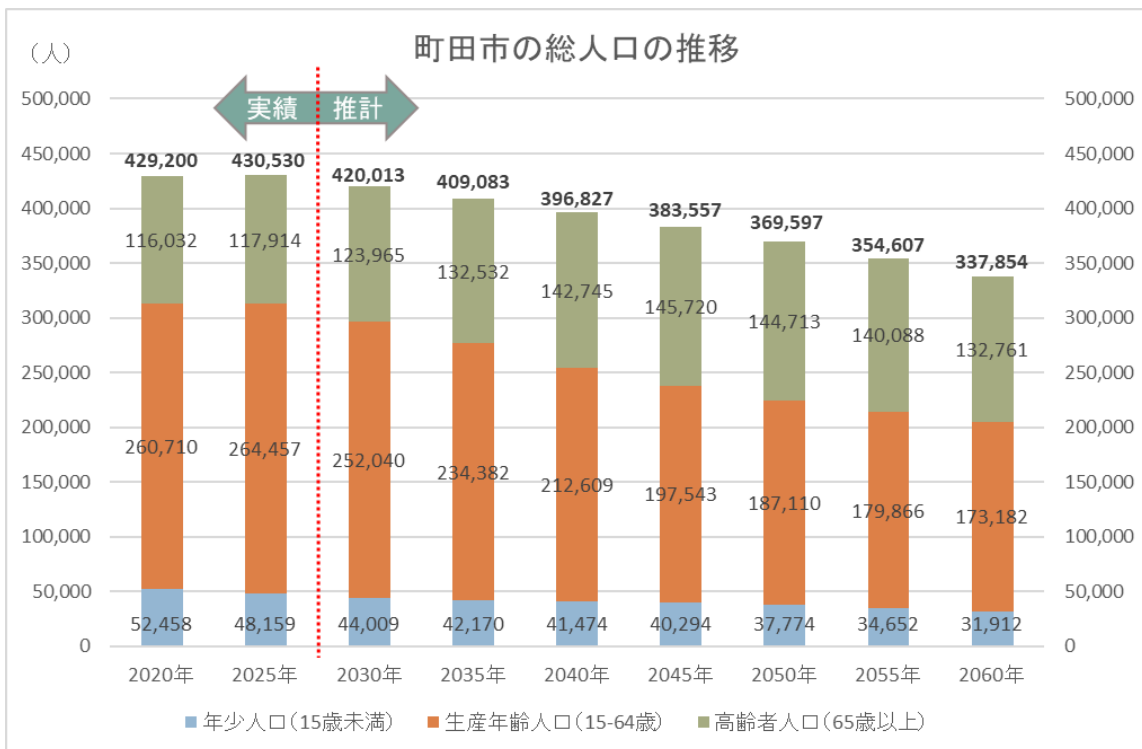


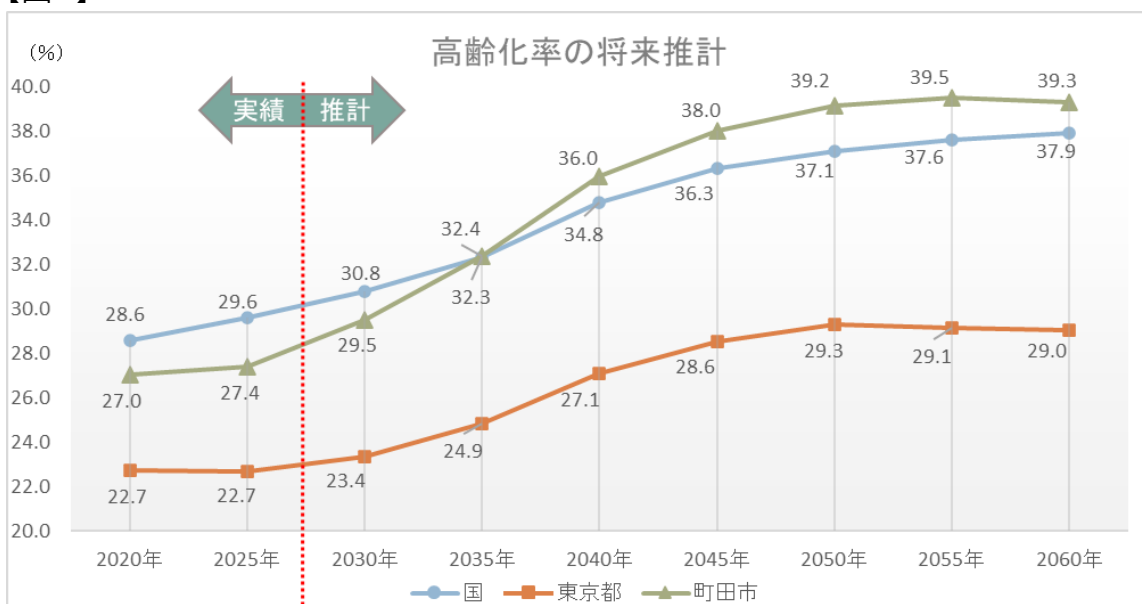
町田市の高齢化等の状況

- 町田市の総人口は 2025 年時点で約 430,000 人です。国の総人口は 2008 年にピークを迎えましたが、町田市は 2025 年頃まで横ばいで推移し、その後減少に転ずる見込みです。【図1】
- 町田市の高齢者人口は 2025 年時点で約 118,000 人であり、高齢化率は約 27% です。2035 年には、高齢者人口は約 133,000 人まで増加し、高齢化率は国に並ぶ約 32%に達します。その後、高齢化率は国を上回り推移する見込みです。【図1・図2】

【図1】

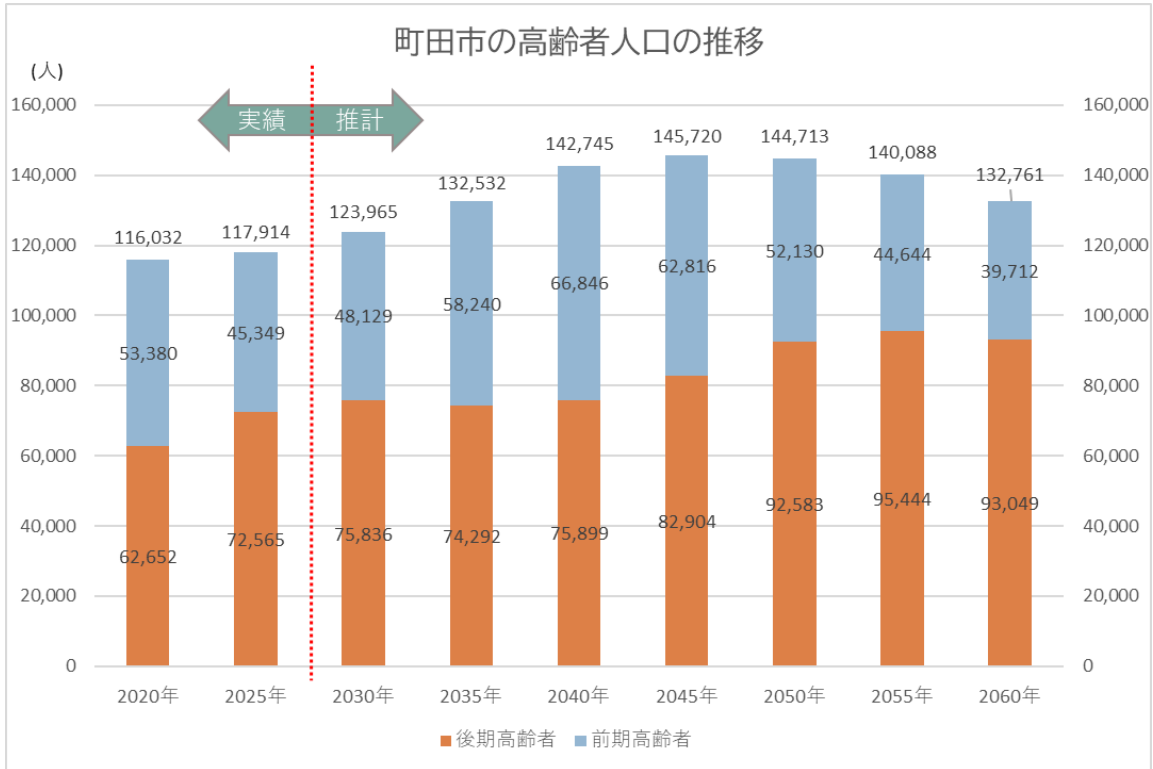


【図2】



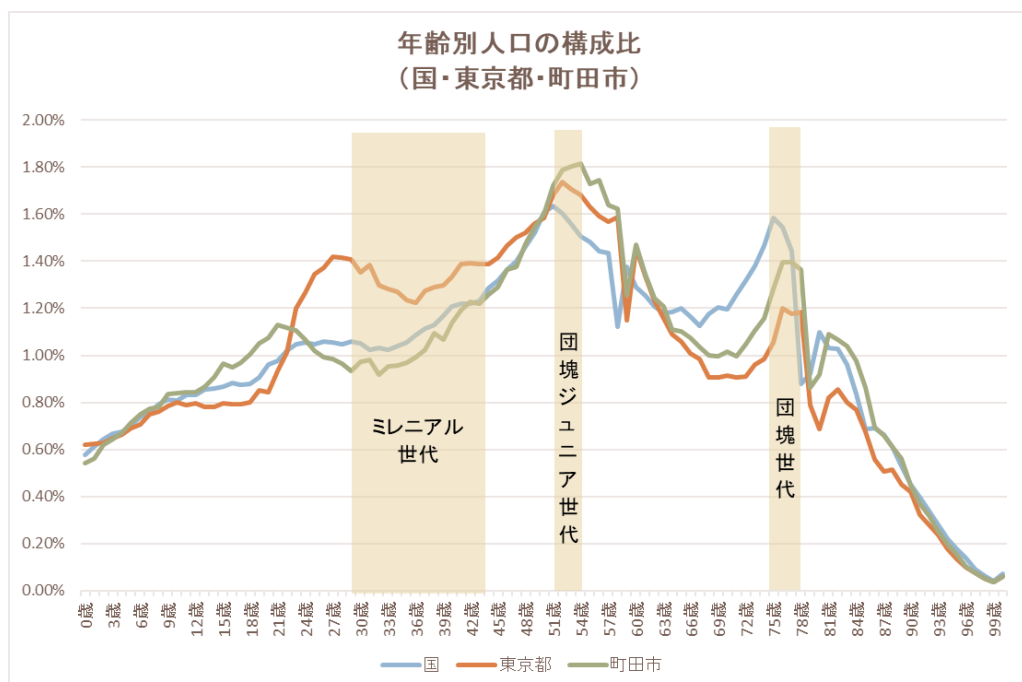
- ・ 高齢者人口は 2045 年頃にピークを迎え、その後は減少に転じる見込みです。
- ・ 前期高齢者人口のピークは団塊ジュニア世代が高齢者となる 2040 年頃です。後期高齢者は、高齢者人口の減少が始まった後も増加し続け、2055 年頃にピークを迎えます。【図 3】

【図3】



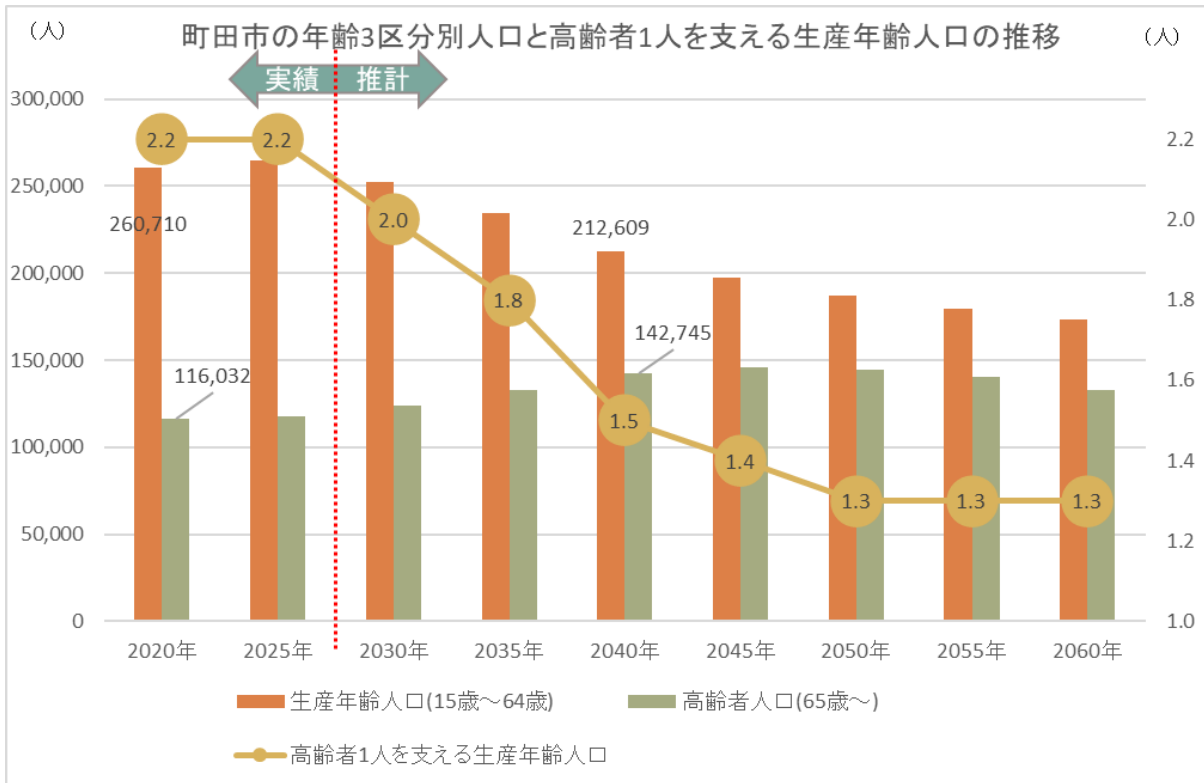
- ・ 町田市の年齢別人口構成の特徴として、団塊ジュニア世代が多いこと、その後続くミレニアル世代が少ないことがあげられます。このことが2040年以降に高齢化率が国を上回って推移する原因と考えられます。【図 4】

【図 4】

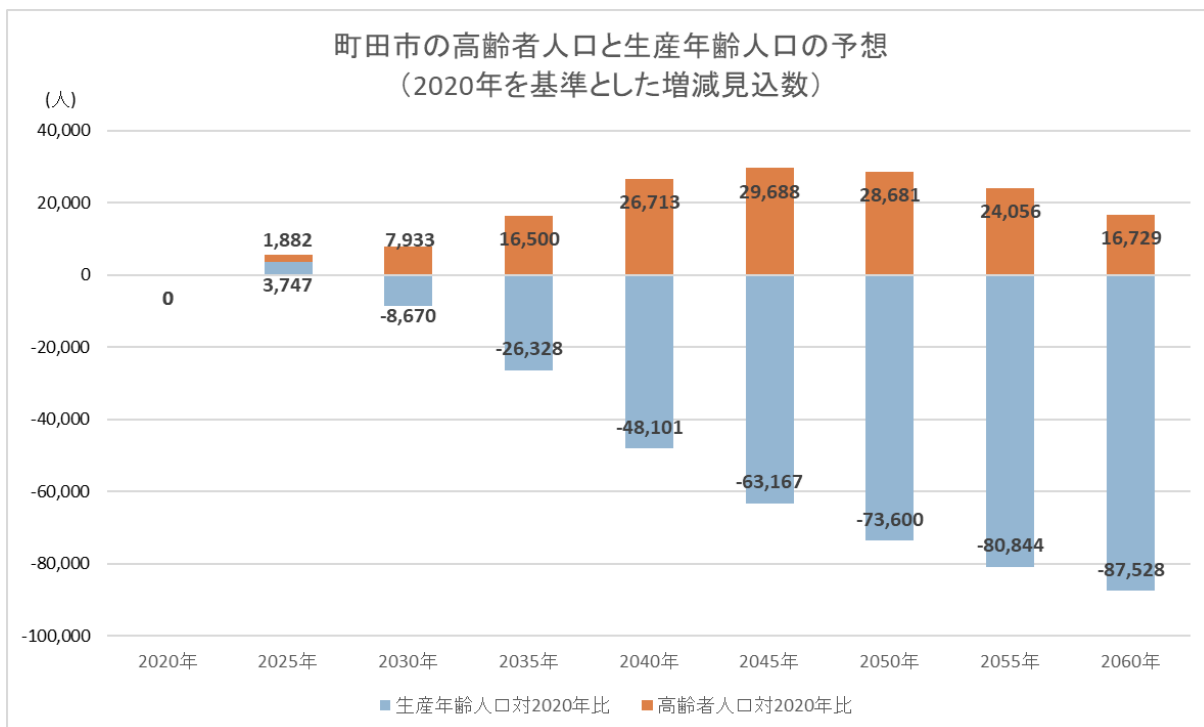


- ・ 生産年齢人口の減少に伴い、介護保険制度における財源・サービスの支え手不足が深刻化する見込みです。2025年には生産年齢人口2.2人で高齢者1人を支えていましたが、2040年には生産年齢人口1.5人で高齢者1人を支える計算になります。いわゆる「肩車型社会」が目前に迫っています。【図5】

【図5】

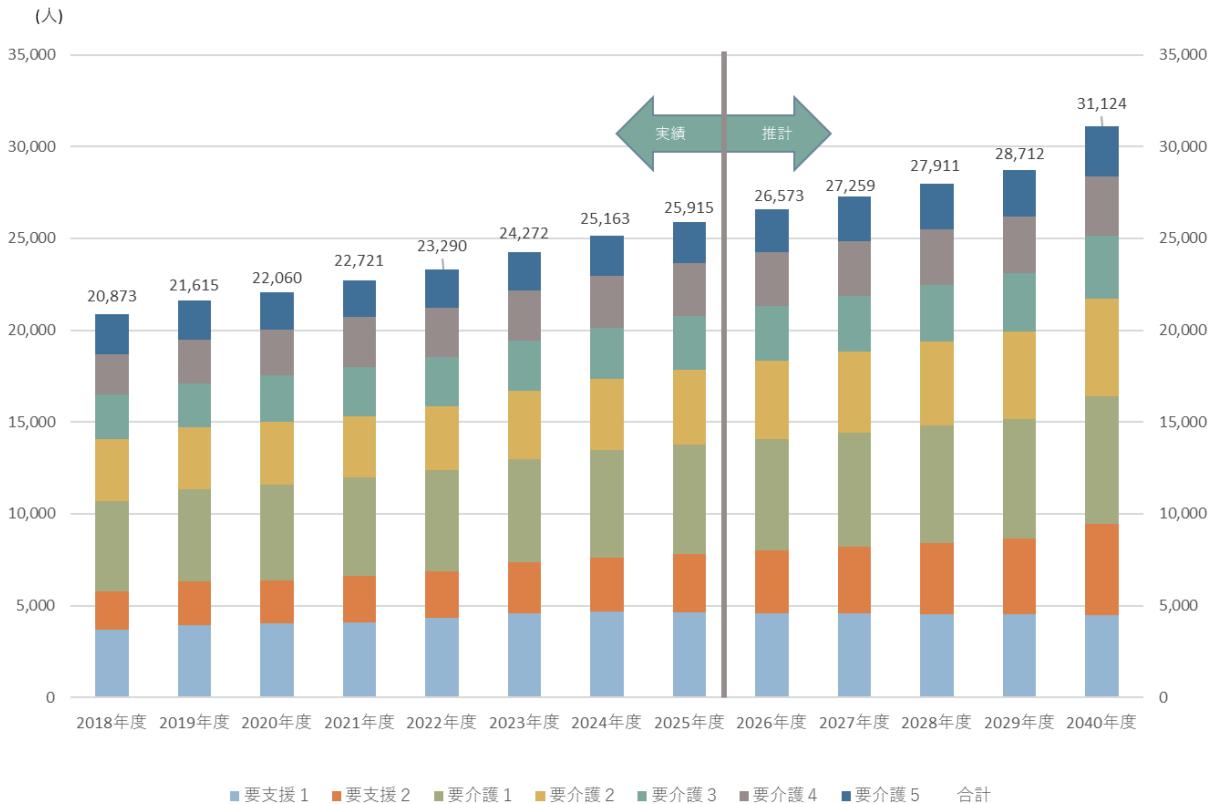


【参考】



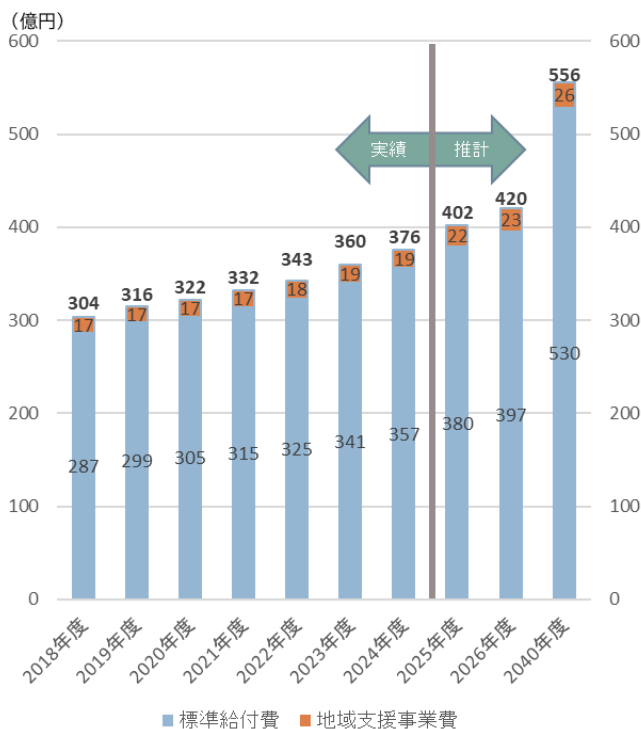
・高齢者人口の増加に伴い、町田市の要介護・要支援認定者数も増加しています。2025年時点で約 26,000 人である要介護・要支援認定者は、2040 年には約 1.2 倍の約 31,000 人まで増加する見込みです。【図 6】

【図 6】町田市の要介護・要支援認定者数の推移

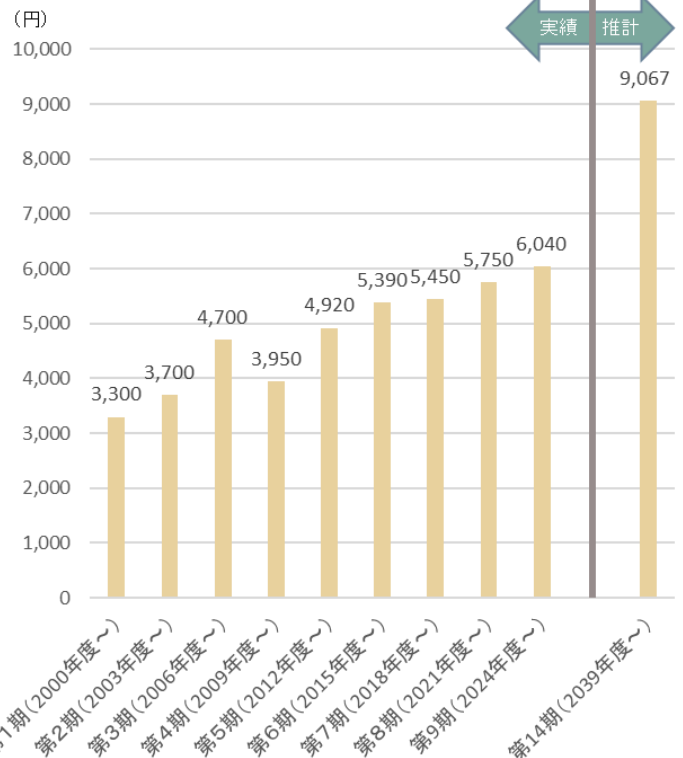


・ 高齢者人口の増加に伴い、介護サービスに関する給付費等も増加しています。これにより、公費等の制度維持のための費用や介護保険料が増加しています。【図 7・図 8】

【図 7】町田市の介護サービスに関する給付費等の推移

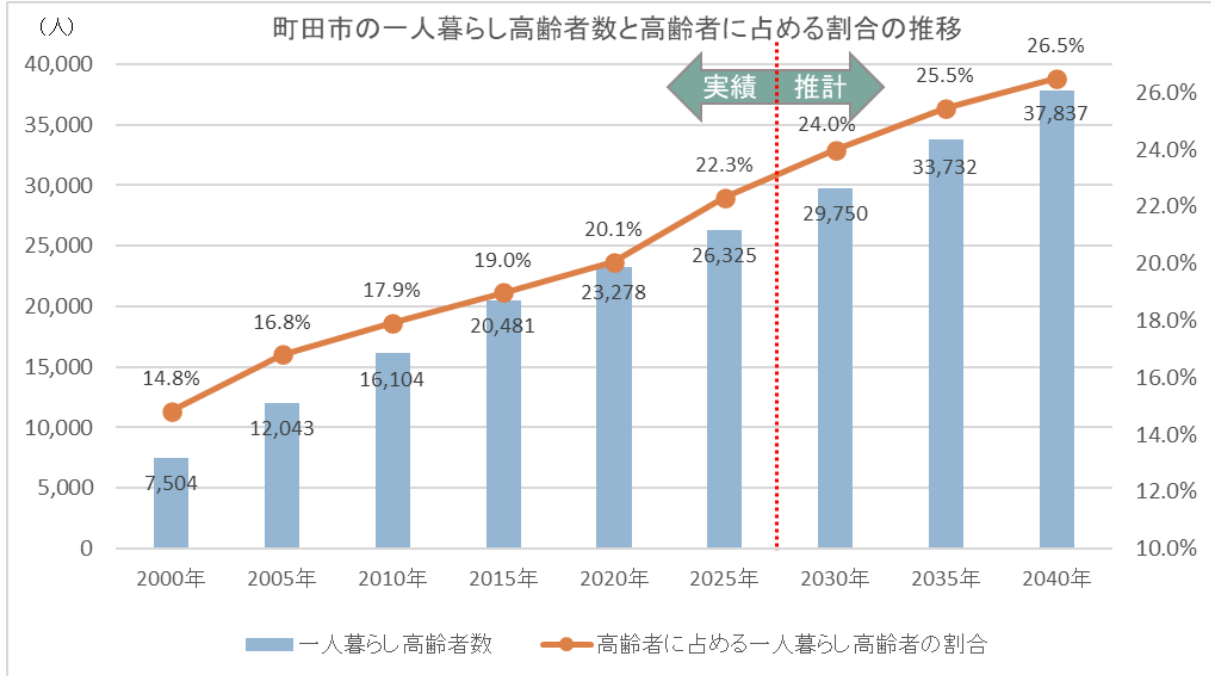


【図 8】町田市の介護保険料月額基準額の推移



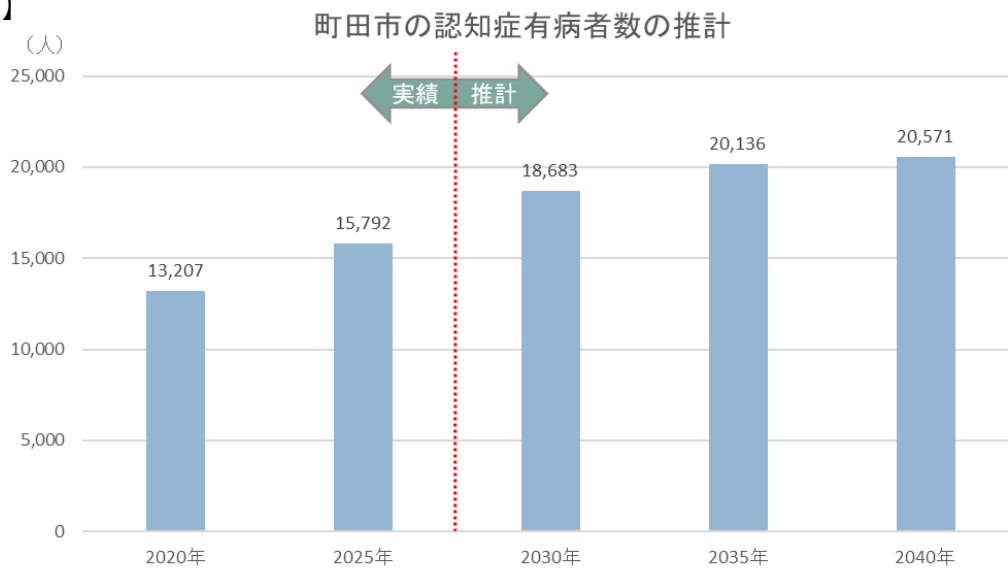
- ・ 2025年時点で約118,000人である町田市の高齢者人口の内、約22%にあたる約26,000人が一人暮らし高齢者です。この割合は団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年には約26%まで増加するため、高齢者のほぼ4人に1人が一人暮らし高齢者となる見込みです。【図9】

【図9】



- ・ 町田市の高齢者の認知症有病者数は2025年時点で約16,000人と推定されます。2040年には約1.3倍の約20,000人まで増加し、高齢者のほぼ7人に1人が認知症となる見込みです。【図10】

【図10】



※2020～2025年

町田市住民基本台帳実績値に「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」(令和5年度老人保健事業)における年齢階級別認知症有病率を乗じて算出。

※2030年以降

町田市将来人口推計の推計値に「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」(令和5年度老人保健事業)における年齢階級別認知症有病率を乗じて算出。

- ・ 全期間を通じて、後期健診の受診率の方が特定検診よりも高い水準で推移しています。2020年度を底として、翌2021年度からは回復傾向にあります。特定検診はコロナ禍前と同水準まで回復しているのに対し、後期検診はコロナ禍前の水準にはわずかに届いていません。【図11】

【図11】

